

公開講演会

平成13年度

■第1回 創立記念公開講演会「地球水循環」

平成14年2月22日 メルパルクNAGOYA

「地球環境問題と大学の役割」	住 明正 (東京大学気候システム研究センター教授)
「衛星で見る世界の降雨」	中村 健治 (名古屋大学地球水循環研究センター教授)
「降雨特性にみるアジアらしさ」	上田 博 (名古屋大学地球水循環研究センター教授)
「植生・地表面状態を衛星から測る」	樋口 篤志 (名古屋大学地球水循環研究センター助手)
「人類の活動と水の循環」	中尾 正義 (総合地球環境学研究所教授)

- ・担当教員：中村 健治
- ・参加人数：65名

平成14年度

■第2回 「東ユーラシアの地球水循環」

平成14年12月5日 名古屋大学シンポジオンホール

「グローバルにみた東ユーラシアの気候と水循環」	松本 淳 (東京大学大学院理学系研究科助教授)
「東シベリアの水循環－凍土・森林・大気の相互作用－」	檜山 哲哉 (名古屋大学地球水循環研究センター助教授)
「衛星によるユーラシア大陸の陸域水循環観測手法の開発」	小池 俊雄 (東京大学大学院工学系研究科教授)
「アジアモンスーンにおける水循環の役割」	安成 哲三 (名古屋大学地球水循環研究センター教授)

- ・担当教員：上田 博
- ・参加人数：123名

平成15年度

■第3回 「地球環境変化と海洋の変化」

平成16年1月9日(金) 名古屋大学環境総合館レクチャーホール

「海洋の大循環」	花輪 公雄 (東北大学大学院理学研究科教授)
「日本海の表層と低層の流れの変動」	森本 昭彦 (名古屋大学地球水循環研究センター助教授)
「漁業に対するダムの影響—中国三峡ダムの場合」	陳 鎮東 (名古屋大学地球水循環研究センター客員教授)
「西部北太平洋表層の生物活動の変化」	才野 敏郎 (名古屋大学地球水循環研究センター教授)

- ・担当教員：才野 敏郎
- ・参加人数：97名

平成16年度

■第4回 「雲をつかむ」

平成17年1月8日(土) 名古屋大学野依記念学術交流館カンファレンスホール

「雲と気候変動」	中島 映至 (東京大学気候システム研究センター教授)
「雲を人工的に変える」	村上 正隆 (国土交通省気象庁気象研究所物理気象研究部第1研究室長)
「計算機で雲・豪雨を作る」	坪木 和久 (名古屋大学地球水循環研究センター准教授)
「大気汚染が雲を変える」	石坂 隆 (名古屋大学地球水循環研究センター准教授)

- ・担当教員：石坂 隆
- ・参加人数：105名

平成17年度

■第5回 「植生が気候を変える？」

平成17年12月17日（土）名古屋大学シンポジオンホール

「シベリアのタイガと気候・水循環の相互作用」

太田 岳史（名古屋大学大学院生命農学研究科教授）

「植生は気候を変えるのか？」

檜山 哲哉（名古屋大学地球水循環研究センター准教授）

「東南アジア熱帯林と気候・水循環の相互作用」

鈴木 雅一（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

「衛星から見た近年の植生変動とその要因」 近藤 昭彦（千葉大学リモートセンシング研究センター教授）

「全球気候モデルを用いた植生と気候の相互作用に関する数値実験」

馬淵 和雄（国土交通省気象庁気象研究所主任研究官）

- ・担当教員：檜山 哲哉
- ・参加人数：80名

平成18年度

■第6回 「人工衛星から雲と雨を観る」

平成18年12月9日（土）名古屋大学シンポジオンホール

「可視・赤外画像による雲の見方」

井上豊志郎（気象庁気象研究所気象衛星・観測システム研究部室長）

「宇宙から降水を測る」

井口 俊夫（情報通信研究機構電磁波計測部門研究主幹）

「衛星データに見る雲・降水と大気大循環」

増永 浩彦（名古屋大学水循環研究センター准教授）

「宇宙から雨の特性を知る」

高敷 緑（東京大学気候システム研究センター准教授）

- ・担当教員：増永 浩彦
- ・参加人数：72名

平成19年度

■第7回 「黒潮の変動と我々の暮らし」

平成20年1月12日（土）名古屋大学環境総合館レクチャーホール

「黒潮：海のダイナミックな流れ」

今脇 資郎（九州大学応用力学研究所教授）

「黒潮：海と空をつなぐ架け橋」

久保田雅久（東海大学海洋学部教授）

「黒潮：魚の生き残り戦略」

秋山 秀樹（水産総合研究センター中央水産研究所海洋生産部海洋動態研究室長）

「黒潮：沿岸域の変化」

森本 昭彦（名古屋大学地球水循環研究センター准教授）

- ・担当教員：森本 昭彦
- ・参加人数：87名

平成20年度

■第8回 「『水』と地球環境」

平成20年12月20日（土）名古屋大学シンポジオンホール

「アジアの氷河変動が意味するもの」

藤田 耕史（名古屋大学大学院環境学研究科准教授）

「水質トレーサーから見る地球環境問題」

中野 孝教（総合地球環境学研究所教授）

「植生を介した水循環と地球気候システム」

安成 哲三（名古屋大学地球水循環研究センター教授）

「世界の水利用と水災害」

沖 大幹（東京大学生産技術研究所教授）

- ・担当教員：檜山 哲哉
- ・参加人数：125名

平成21年度

■第9回 「気象現象を観る・気象現象を測る」

平成21年12月5日（土）名古屋大学シンポジオンホール

「風を測る」

橋口 浩之（京都大学生存圏研究所准教授）

「エアロゾルを測る」

岩坂 泰信（金沢大学フロンティアサイエンス機構特任教授
・名古屋大学名誉教授）

「雨・雪を測る」

上田 博（名古屋大学地球水循環研究センター教授）

「雷を観る」

河崎善一郎（大阪大学大学院工学研究科教授）

・担当教員：上田 博

・参加人数：94名

平成22年度

■第10回 「地球水循環研究のフロンティア」

平成22年12月11日（土）名古屋大学野依記念学術交流館カンファレンスホール

「温暖化するシベリアの自然とそこに生きる人々」 檜山 哲哉（総合地球環境学研究所 准教授）

「激変する東シナ海と日本海：海流がはこぶもの」 森本 昭彦（名古屋大学地球水循環研究センター 准教授）

「スーパーコンピュータで台風を再現する」 坪木 和久（名古屋大学地球水循環研究センター 准教授）

「気候のメディエーター：雨がもたらすもう一つの恵み」 増永 浩彦（名古屋大学地球水循環研究センター 准教授）

・担当教員：上田 博

・参加人数：110名

平成23年度

■第11回 「宇宙から海を観る・測る」

平成24年1月7日（土）名古屋大学シンポジオンホール

「海と大気の相互作用を測る」 江淵 直人（北海道大学低温科学研究所 教授）

「海流を測る」 森本 昭彦（名古屋大学地球水循環研究センター 准教授）

「プランクトンを観る」 石坂 丞二（名古屋大学地球水循環研究センター 教授）

「魚を観る」 齊藤 誠一（北海道大学大学院水産科学研究院 教授）

・担当教員：石坂 丞二

・参加人数：94名

平成24年度

■第12回 「大気海洋相互作用」

平成24年12月15日（土）名古屋大学ES総合館ESホール

「台風とその大気海洋相互作用」 坪木 和久（名古屋大学地球水循環研究センター 教授）

「台風と東シナ海の黒潮変動」 森本 昭彦（名古屋大学地球水循環研究センター 准教授）

「中高緯度の気候と海洋の双方向の作用と異常気象」 立花 義裕（三重大学大学院 生物資源学研究所 教授）

「エルニーニョとその全球的な影響」 渡部 雅浩（東京大学大気海洋研究所 准教授）

・担当教員：坪木 和久

・参加人数：75名

平成25年度

■第13回 「地球環境変動 ―気候変化からハビタビリティまで―」

平成25年12月21日（土）名古屋大学野依記念学術交流館カンファレンスホール

「気候変動と森林破壊」熊谷 朝臣（名古屋大学 地球水循環研究センター 准教授）

「氷期・間氷期から探る地球温暖化」吉森 正和（東京大学 大気海洋研究所 特任助教）

「地球環境と生命の進化」田近 英一（東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授）

「もう一つの地球：系外惑星とハビタビリティ」玄田 英典（東京工業大学 地球生命研究所 特任准教授）

- ・担当教員：増永 浩彦
- ・参加人数：105名

平成26年度

■第14回 「環境災害リスクと地球水循環研究」

平成27年1月10日（土）名古屋大学シンポジオンホール

「伊勢湾台風を超えるスーパー台風は襲来するか」坪木 和久（名古屋大学 地球水循環研究センター 教授）

「阪神・淡路大震災20年」鈴木 康弘（名古屋大学 減災連携研究センター 教授）

「地域を知り、防災を考える」牛山 素行（静岡大学 防災総合センター 教授）

- ・担当教員：檜山 哲哉
- ・参加人数：143名

平成27年度

■第15回 「ふたたび雲をつかむ話」

平成27年7月18日（土）名古屋大学シンポジオンホール

「雲の中では何が起きているのか 雲・降水の微物理過程」荒木 健太郎（気象庁気象研究所 研究官）

「地球の気候と雲のかかわり」鈴木 健太郎（東京大学大気海洋研究所 准教授）

「雲、その振る舞いをシミュレーションで再現する挑戦～次世代大型計算機でのさらなる雲科学の発展にむけて」

佐藤 陽祐（理化学研究所計算科学研究機構 基礎科学特別研究員）

「地球以外の惑星・衛星に見られる雲 地球の雲との共通点と相違点」鈴木 健太郎

（杉山 耕一郎（宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 研究員））

- ・担当教員：篠田 太郎
- ・参加人数：136名

― 宇宙地球環境研究所 ―

平成27年度

■第1回 「私たちの暮らしと宇宙地球環境」

平成27年11月3日（火）祝日 名古屋大学IB電子情報館 東棟2階 大講義室

「オーロラを通して診る宇宙地球環境」藤井 良一（名古屋大学宇宙地球環境研究所 教授）

「過去2千年間の気候変動の歴史から学べること」中塚 武（総合地球環境学研究所 教授）

「気候変動リスクと人類の選択」江守 正多（国立環境研究所 地球環境研究センター 室長）

- ・担当教員：檜山 哲哉
- ・参加人数：251名